

# 県土の発展と県民の安全・安心に資する道路整備の推進

- ▶ 災害脆弱性とインフラ老朽化を克服し、強靱で信頼性の高い道路ネットワーク構築のため、道路施設の強力な支援を図りたい。

【提案・要望先】財務省、国土交通省

## 1. 提案・要望内容

### (1) 県土の発展を支える道路整備の推進

- 防災・減災、国土強靱化の更なる推進と生活・経済活動を支えるための道路予算枠の拡大、交付金枠の確保
- 地方整備局等の体制の充実・強化

### (2) 安全・安心や賑わいを創出する道路整備の推進

- 大雪時の円滑な交通確保に向けた財政支援
- 道路インフラ施設の予防保全を基本とした維持管理への転換に向けた財政支援
- 「いのち」を守る道路環境の形成への継続的な財政支援
- ナショナルサイクルルート「ビワイチ」の整備推進のための財政支援

## 2. 提案・要望の理由

- 国土強靱化の更なる推進や幹線道路ネットワークの更なる整備のため、防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策については、残る期間における確実な予算の措置、さらに5か年加速化対策後においても必要な予算・財源の安定的な措置が必要。また、道路予算枠の拡大、交付金枠の確保が必要。
- 直轄事業の着実な進捗や、激甚化・頻発化する自然災害に即応するため、TEC-FORCE等を含む地方整備局等の体制の充実・強化および災害対応に必要な資機材の更なる確保が必要。
- 大雪時の円滑な交通確保に向け、除雪機械等の安定した稼働が重要であり、老朽化している雪寒用建設機械を計画的に更新できるよう重点的な財政支援が必要。
- 道路インフラ施設の老朽化対策を着実に進めるため、道路メンテナンス事業補助による財源支援が必要
- 歩道整備などの安全安心な道づくりについて、計画的かつ集中的に推進できるよう継続的な財政支援が必要。
- ポストコロナのキーコンテンツとして、世界に誇るナショナルサイクルルート「ビワイチ」の更なるブランド価値向上に向け、走行空間整備や案内標識等のサイクリストへのサービス水準を引き上げる取組に対する重点的な支援が必要。

# (本県の取組状況と課題)

## (1) 幹線道路ネットワーク整備状況

- ・令和3年4月に公表された「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」で事業中の**直轄事業の開通見通し**（令和7年秋）が示された。
- ・物流ネットワークの形成に資する「**名神名阪連絡道路**」の事業化に向け今後調査費が増大。
- ・**令和4年8月豪雨**では北陸自動車道、国道8号、国道365号が同時に被災し、**滋賀県と福井県の道路ネットワークが分断**された。

### 【5か年加速化対策を活用した幹線道路ネットワーク整備】

・令和4年8月豪雨の被災状況

国道365号道路損壊（栃ノ木峠）

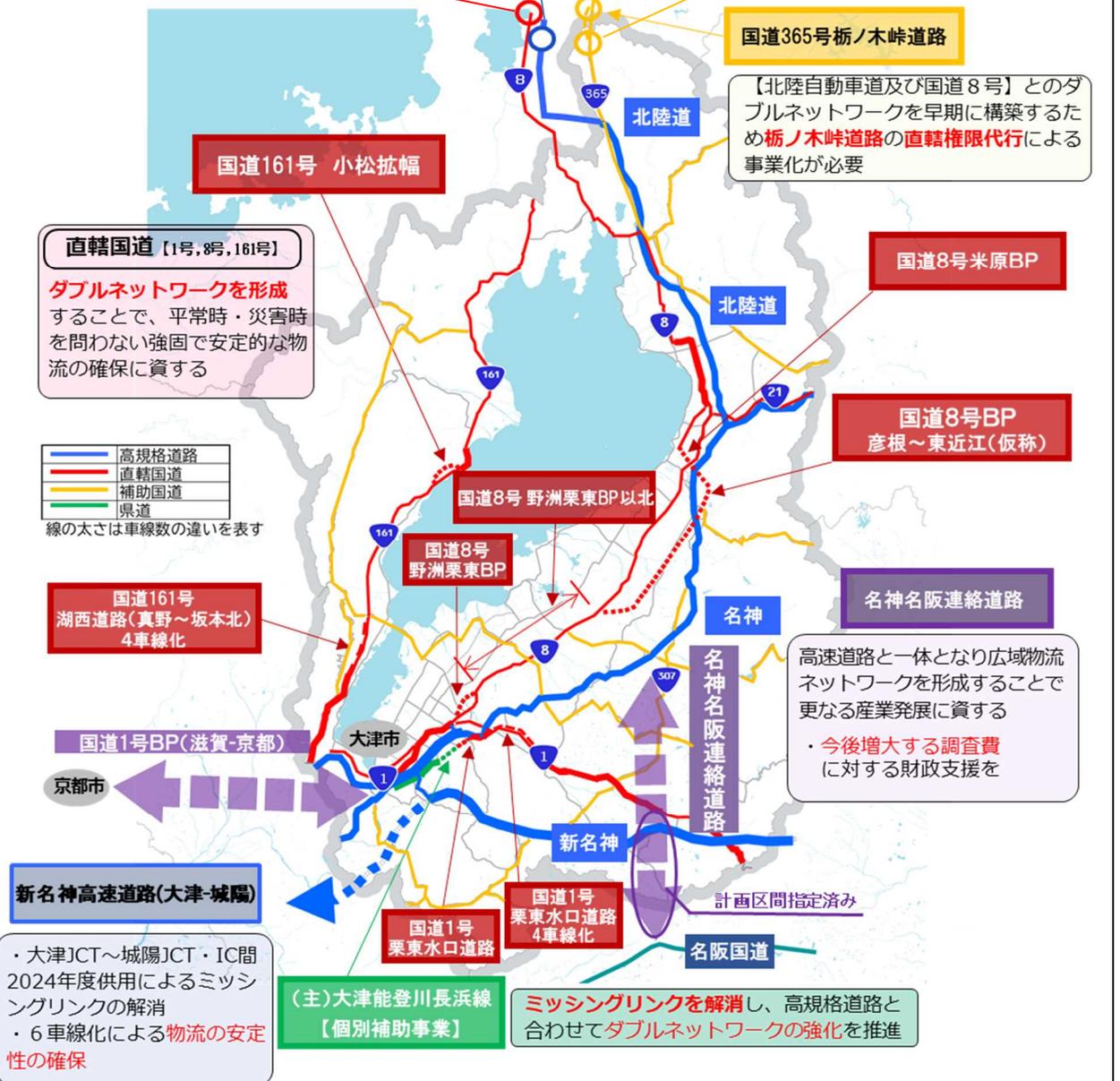


国道8号土砂流出（福井県）

北陸道土砂流出（福井県）



国道365号土砂流出（長浜市）



# (本県の取組状況と課題)

## (2) 大雪への備え

- ・滋賀県では除雪車や凍結防止剤散布車などの**雪寒用建設機械を64台保有**し、除雪作業等を実施している。
- ・64台のうち、**37台は購入後10年以上が経過**し、さらに**12台は20年以上を経過**しており、毎年の整備点検では部品交換や修理等を実施しているが、対象部品の製造が終了しているものがあり十分な修繕がされていない。
- ・そのため、県では「**雪寒用建設機械更新計画**」を策定したところ。今後は老朽化した**除雪機械等を計画的に更新**できるよう**雪寒事業費の重点的な財政支援**が必要



昨年度の大雪時の渋滞状況  
(彦根市内)



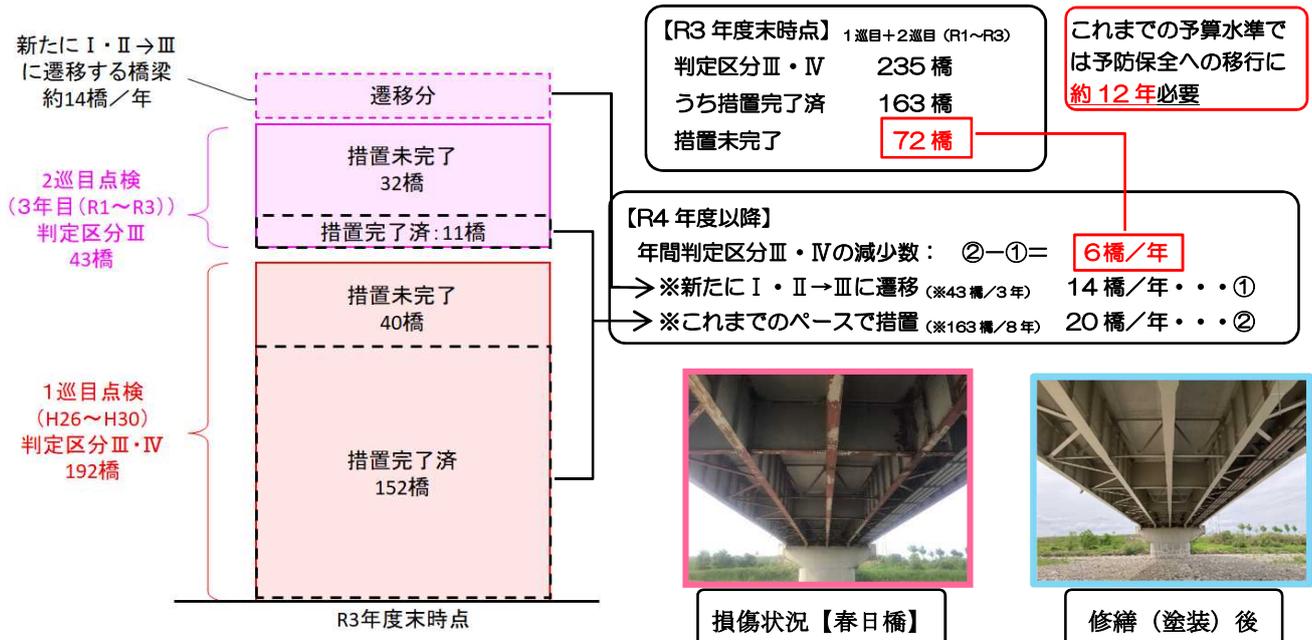
雪寒用建設機械の損傷状況  
(除雪ローダ(購入後24年))



交換部品がなく、溶接等で延命化を図っている状況

## (3) 予防保全型メンテナンスへの転換

- ・滋賀県では令和3年度末時点で**修繕措置未完了が72橋**。予防保全型メンテナンスへの転換に向け、**毎年、約20橋の対策**を進めている一方で**約14橋がⅠ・Ⅱ判定からⅢ判定へ遷移**している。これまでの予算水準では、**予防保全型への移行に約12年間**要する見込み。
- ・早期対応が必要な道路施設(判定区分Ⅲ・Ⅳ)への**老朽化対策を加速化**するためには、**重点的かつ集中的な財政支援**が継続して必要



## (本県の取組状況と課題)

### (4) 「いのち」を守る道路環境

- ・安全な社会を実現するために、関係機関が協力し、より一層スピード感を持って**危険箇所の安全点検・対策**を推進していくことが求められている。
- ・**交通安全対策補助**は、千葉県八街市の事故を受けて令和3年度に実施した通学路合同点検に基づく小学校通学路の対策必要箇所のみが対象であるが、令和4年度以降の通学路合同点検（未就学児の移動経路および中学校の通学経路も含め）で抽出される対策必要箇所も対象事業とするよう、**制度拡充**が必要
- ・通学路を含む子どもたちが活動する一定の生活エリアにおいて、歩道整備やハンプ設置等を行う**地区内連携事業**を計画的に推進できるよう、継続的な財政支援が必要

歩道がなく車と小学生が衝突し危険



川合千田線（長浜市）田部踏切



### (5) ナショナルサイクルルート「ビワイチ」

- ・世界に誇るサイクリングロードを目指す「ビワイチ」では、ナショナルサイクルルートに指定されている「低速コース」の整備（自転車歩行者専用道路等）を令和4年度中に完了する予定
- ・より安全なスポーツサイクリング体験と「ビワイチ」の**地域ブランド**を磨き上げるため、「**上級コース**」の**自転車通行帯整備**を推進しており、引き続き**財政支援**が必要
- ・インバウンド受け入れの再開を見据えてナショナルサイクルルートを管理する自治体が連携し、**ALL JAPAN**で全世界へ向けて魅力を発信できるよう**情報発信の支援**が必要。

低速コースの整備  
家族連れゆっくりリサイクリング



自転車歩行者専用道路の整備

【県管理道路】  
計画延長：99km  
⇒R4年度整備完了予定

上級コースの整備  
スポーツサイクリング等



自転車通行帯の整備

【県管理道路】  
計画延長：30km（～R9目標）  
整備延長：11km（R3年度末）

